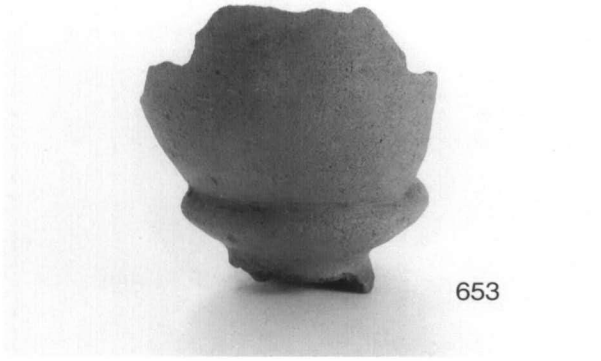
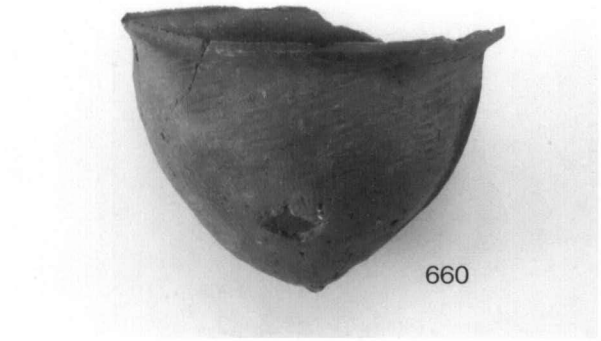
628

640


653

640


660

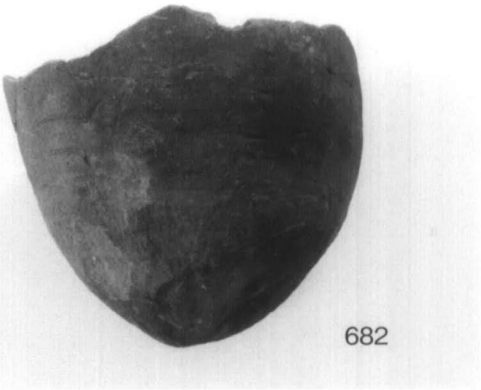
680

661

出土遺物（20）

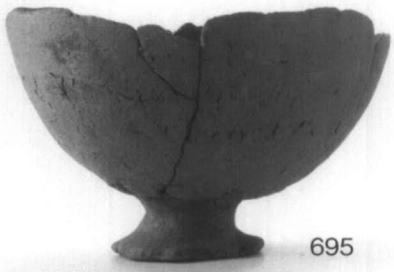
図版 52　鹿伏・中所遺跡

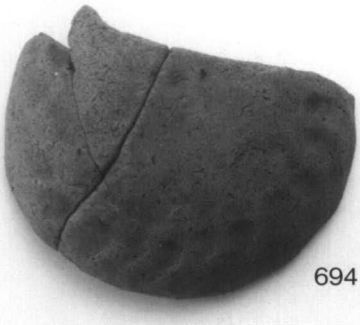
678


682

682

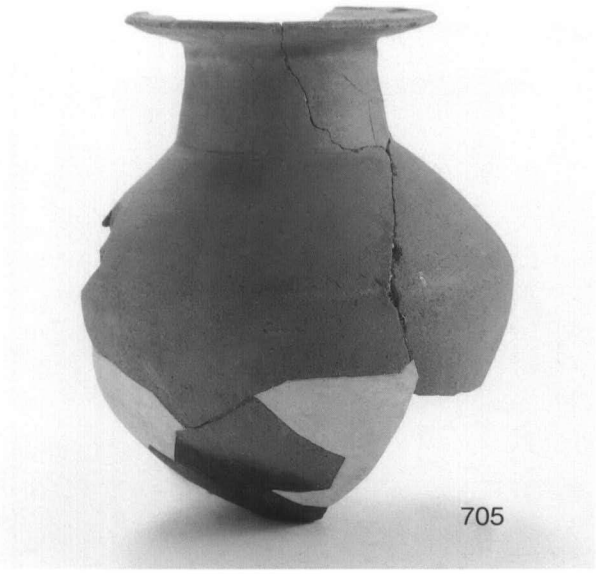
694


695


694

699

出土遺物（21）


705

713

711

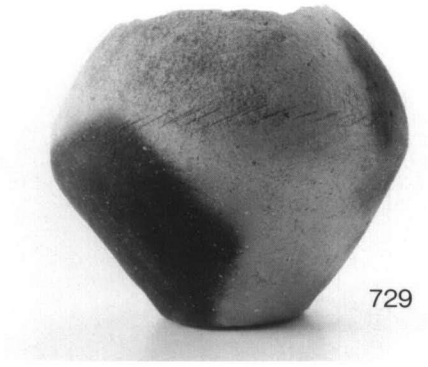
719

728

720

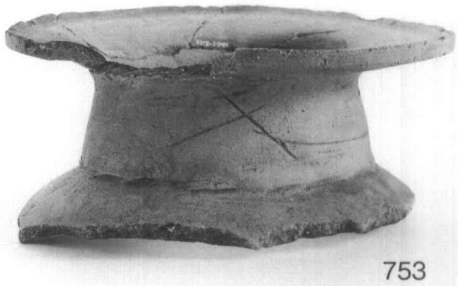
出土遺物（22）

図版 54　鹿伏・中所遺跡

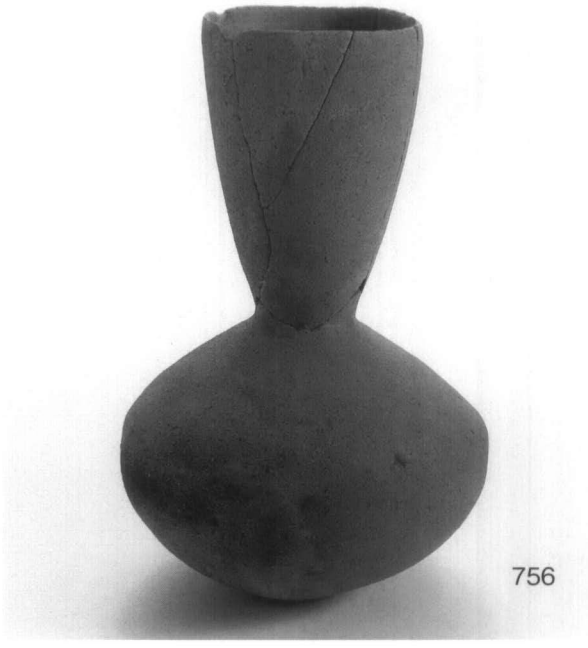

729

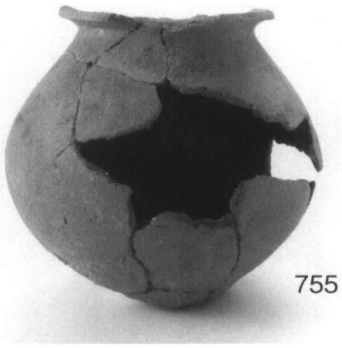
739

740


753

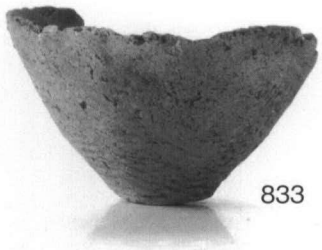
752


756


755

773

792


833

815

867

867

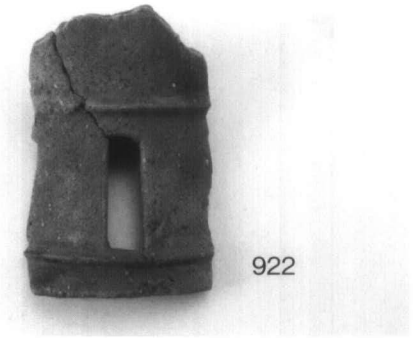
出土遺物（24）

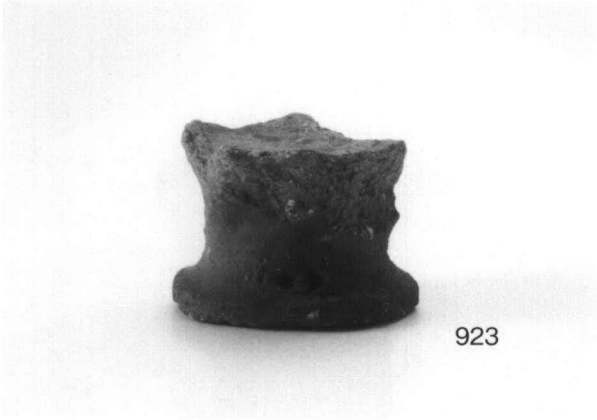
図版 56　鹿伏・中所遺跡

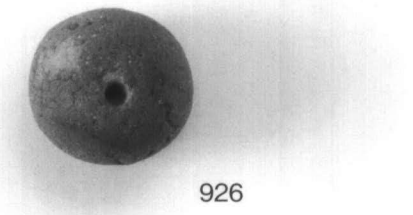
894

896

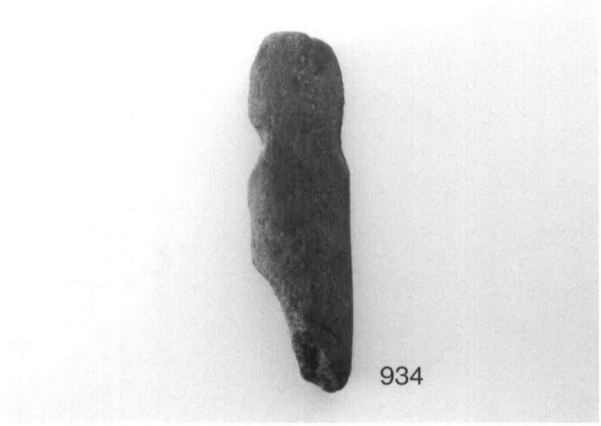
918

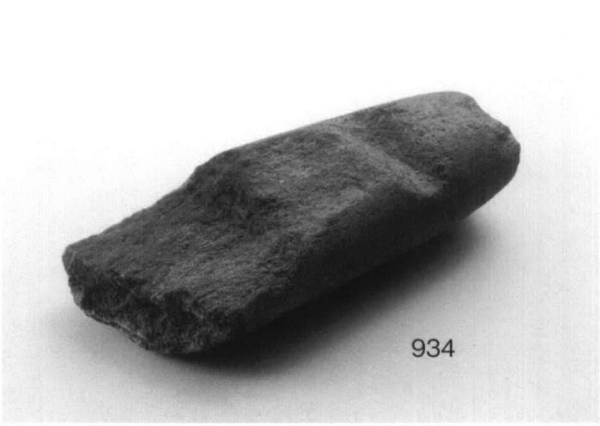

922

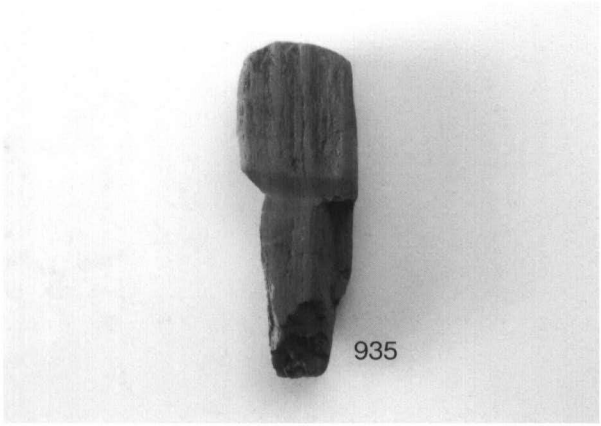

923

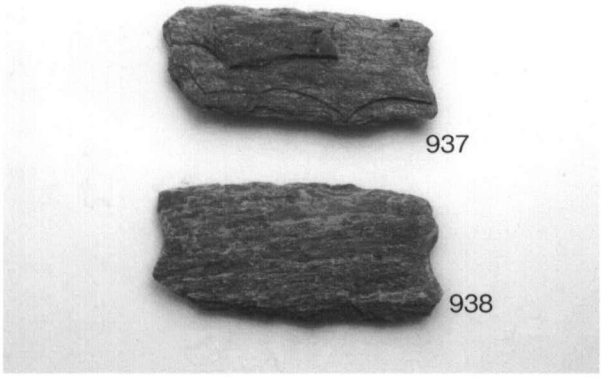

926

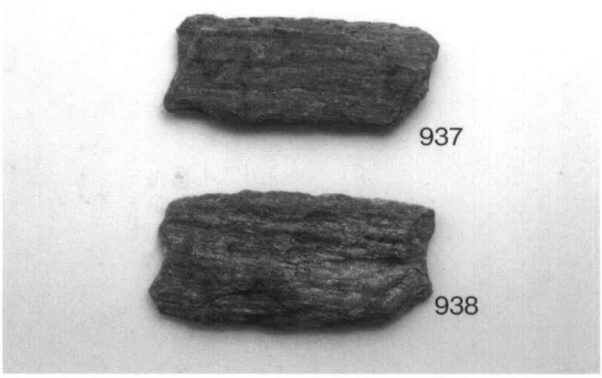
出土遺物（25）

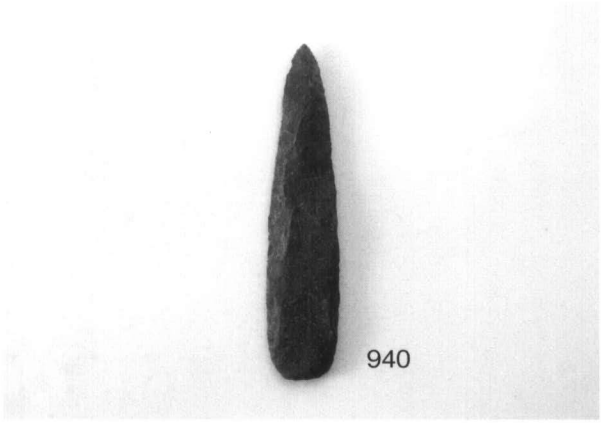












出土遺物（26）

報告書抄録

ふりがな	ししぶせ・なかしょいせきに
書　　名	鹿伏・中所遺跡Ⅱ
副 書 名	高校新設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告
巻　　次	第３冊
編著者名	西村　尋文
編集機関	香川県埋蔵文化財センター
所 在 地	〒762-0024　香川県坂出市府中町字南谷5001-4　Tel　0877-48-2191　Fax　0877-48-3249
発行機関名	香川県教育委員会
発行年月日	西暦2009年1月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード		北　緯 °′″	東　経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ししぶせ・なかしょ 鹿伏・中所 いせき 遺跡	かがわけん　きだぐん 香川県　木田郡 みきちょう　ひらぎ 三木町　平木、 ししぶせ 鹿伏	37341		34° 16′ 20″	134° 8′ 10″	1994. 6. 1 ～ 1995. 9. 30	15,391㎡	高校新設事業

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ししぶせ・なかしょ 鹿伏・中所 いせき 遺跡	集落跡	弥生時代中期～後期	竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土器棺墓・土坑・溝状遺構・自然河川跡	弥生土器・石器・鉄器	

要　　約

鹿伏・中所遺跡は高松平野東端新川支流の古川が形成した沖積地に立地する弥生時代後期を主体とする集落遺跡である。発掘調査の結果、竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土器棺墓、土坑、溝状遺構、河川跡など多数の遺構を検出した。今回報告する地区は、住居跡や建物跡が多数分布する地区（Ⅶ区）と、溝状遺構・河川跡を検出した地区（Ⅸ区）である。

Ⅶ区では住居跡44棟、建物跡32棟、土坑64基、溝状遺構45条等を検出した。これらの遺構は多くが弥生時代後期に所属する。Ⅸ区では弥生時代後期等の溝状遺構７条、河川跡２条を検出した。

住居跡は主柱穴列や中央土坑等から復元したものが多く、掘り方をとどめたものは少ない。また、周堤の存在を示す「外周柱穴列」を伴うものが多い。出土遺物と住居跡分布を検討し、一定期間に遺構を継続的に形成し続けた６つの住居群を抽出した。また、床面積30㎡以上を有する掘立柱建物跡がまとまる２群を抽出した。このような住居群や建物群は、周辺調査区のデータを含めて集落全体の構造を検討する上で、重要な基礎単位となる。

高校新設事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
第３冊
鹿伏・中所遺跡Ⅱ

2009年1月31日
編集　香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024 香川県坂出市府中字南谷5001-4
Tel 0877-48-2191　Fax 0877-48-3249
発行　香川県教育委員会
印刷　株式会社 成光社

付図１　Ⅶ区主要遺構分布図１

付図２　Ⅶ区主要遺構分布図

（竪穴住居跡・掘立柱建物跡の復元線・遺構番号を表示）